

### 理工学研究科 機械工学専攻 博士学位論文審査基準

機械工学分野において解決すべき研究課題への取り組みに対し、以下の点を評価基準とする。

- (1) 機械工学の分野において解決すべき課題を自らが発見しているか
- (2) 当該分野の高度専門知識の修得が十分に出来ているか
- (3) 研究課題解決に必要な実験的・理論的な研究手法を自らが修得・開発できているか
- (4) 研究計画の立案とその適切な再検討・修正を自ら継続しながら関連研究者・技術者との議論を踏まえて研究遂行がなされたか
- (5) 十分な研究成果が得られたか
- (6) 研究成果を学術原著論文（査読有り）として適切に公表しているか
- (7) 研究成果を国際的学会または国内学会の講演会などで自らが適切に発表しているか
- (8) 研究成果を学位論文として十分な構成で論理的かつ明確に総括されているか
- (9) 学位論文発表会を含めた学位論文審査過程で研究内容・結果について明確に発表し、審査委員の指摘・質疑に対して十分な対応がなされたか
- (10) 研究計画の立案及び遂行，研究成果の発表並びにデータの保管に関して，適切な倫理的配慮がなされているか。

### 理工学研究科 機械工学専攻 博士学位授与プロセス

- 1 申請者は、事前に指導教員の承認を得て論文題目を決定し、英語または日本語で作成した論文を指導教員に提出する。
- 2 専攻内の会議において学位申請の承認を得たのち、申請者は学位申請を行い、その申請の可否が研究科教授会において決定される。  
可とされた場合は、研究科教授会は審査会（審査委員 3 名以上、うち 1 名が主査）を設置する。その際、必要があれば、他研究科や学外の教員等を審査会委員とすることができる。
- 3 審査会は、提出された学位論文の内容を審査する。申請者は、審査会の助言を反映させた学位論文の最終版を提出する。
- 4 公開の学位論文発表会において研究成果を英語または日本語で発表し、質疑に応ずる。
- 5 審査会は論文、発表について、審査基準に基づき合否判定を行い、さらに専攻内での判定会議を経て研究科教授会に審査結果が報告される。
- 6 最終的な学位授与の可否は、研究科教授会で決定される。